

令和4年度事業計画書

I 令和4年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人として認定されました。令和3年度からは、山頭火ふるさと館の指定管理が防府観光コンベンション協会に移ったため、公会堂、地域交流センターなど5施設の指定管理者として防府市から指定を受け各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めております。

令和3年度は、コロナ禍の中で文化事業として、防府市制施行85周年・山口放送開局65周年記念「ふわふわシナモロール展」や「第21回防府音楽祭」を開催するなどし、好評を博しました。

科学事業では、コロナ禍の状況に応じたスタイルとして、春には触らなくても科学的学び効果のある企画展「おもしろミネラル探検隊」や特別展などを開催し、少し落ち着いてきた秋には、“体験”がメインの企画展「万華鏡展」や科学教室を開催することで、少しでも多くの来館者に科学の普及と学びを提供できるよう努めました。

図書館事業では、開館80周年記念事業として『防府図書館80年の歩み』を刊行し、「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」に基づき、教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

令和4年度は、コロナ禍の中スタートした第4期指定管理の翌年にあたることから、事業を検証し、これまで以上に感染対策を行いながら内容の充実を図り事業活動を展開してまいります。

文化事業については、引き続き、市民の皆様の芸術文化活動に資するため、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」事業に取り組めます。特に、本格稼働を迎えた公会堂では、皆様のご期待に沿う事業を展開するとともに、音響性能や利便性の向上をアピールし、これまで以上に利用いただける施設になるよう努めてまいります。

科学事業については、コロナ禍の中で取り組んできた「安心・安全な科学普及活動スタイル」により状況に応じた新しい事業を展開し、多くの皆様に科学を楽しみながら学べる場を提供できるよう努めてまいります。

図書館事業については、教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る運営事業として、資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、ボランティア・生涯学習グループ等と協働し、集会文化活動の推進に取り組めます。

また、インターネットを利用する電子図書館のシステム導入により幅広い利用の促進に努めてまいります。

本財団は、令和4年度においても、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、これらの事業に積極的に取り組んでいく方針です。

Ⅱ 令和4年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の基本理念に沿い、令和4年度においても、鑑賞、育成、普及、発表・支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業を展開してまいります。

特に、令和4年度は、コロナ禍において落ち込んだ各地からの来客を取り戻すため、魅力的な文化イベントを企画実施することによって、コンサートや展覧会、様々な文化芸術活動等を待望している県内外の方を防府市に誘い、観光客とは異なる多様な層を集客し、地元経済の発展に寄与します。

また、引き続き SNS などによるデジタル戦略に力を入れるとともに、各地元マスコミとのタイアップ企画を積極的に進め、メディア露出にも力を入れます

(1) 音楽鑑賞事業

クラシックからポップスまで様々な質の高い音楽を、防府市民をはじめとする来場者の方々に提供し、音楽への興味・関心を高めていきます。

アスピラートの公演にとどまらず、防府市公会堂においても大型公演を実施するなど多彩な事業を企画し、音楽文化の裾野を広げるための取り組みに努めます。

また、防府市出身のアーティストを大切にするとともに、地域のニーズをつかみ、魅力的な音楽鑑賞事業を展開します。

① クラシック

ア 主催事業

a 第22回防府音楽祭<ほうふニューイヤーコンサート 2023>

…2023年1月6日(金)～9日(月・祝)(予定)

会場：アスピラート、防府市公会堂他

b 硬派弦楽アンサンブル「石田組」

…2022年9月11日(日)会場：アスピラート(予定)

イ 共催事業

a (仮称) 防府ロータリークラブ創立65周年

高嶋ちさ子&加羽沢美濃 カジュアルクラシックス meets ゆかいな音楽会

…2022年5月29日(日) 会場: 防府市公会堂

b DRUM TAO 2022 KAIKI

…2022年6月18日(土) 会場: 防府市公会堂

C アートキャラバン事業

(仮称) 新しい時代への挑戦「日本のトップアーティストと林英哲が繋ぐ魂の響き」

…2022年11月3日(木・祝) 予定 会場: 防府市公会堂

その他1~2本を予定

…(内容・開催時期未定) 会場: アスピラート、防府市公会堂

② ポップス等

ア 主催事業

a ASIAN KUNG-FU GENERATION (アジカン)

…(開催時期未定) 会場: 防府市公会堂

その他1~2本を予定

…(内容・開催時期未定) 会場: アスピラート、防府市公会堂

イ 共催事業

a 吹奏楽の夕べ2022 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート

…2022年10月頃(予定) 会場: 防府市公会堂

その他2~3本を予定

…(内容・開催時期未定) 会場: アスピラート、防府市公会堂

③ 伝統文化

ア 共催事業

a (仮称) 伝統芸能公演

…(内容・開催時期未定) 会場: 防府市公会堂

(2) 音楽育成事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

① こども合唱教室 …月4回(毎週土曜日) 会場: アスピラート他

② 弦楽合奏教室 …月2回(日曜日) 会場: アスピラート他

③ 吹奏楽教室 …月4回(毎週月曜日) 会場: アスピラート他

④ 合唱教室 …月3回(毎週木曜日) 会場: アスピラート他

- ⑤ チェンバロ講座 こどもコース・おとなコース（各コース全3回程度）
…2022年8月～10月（予定）会場：アスピラート

（3）音楽普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事業を展開します。

① 主催事業

- ア （仮称）音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記 20
…2022年7月18日（月・祝）会場：アスピラート
- イ （仮称）音楽セミナー 楽器と音楽
…2022年8月下旬頃 会場：アスピラート

② 共催事業

- ア 室内楽セミナー
…2022年7月頃 会場：アスピラート他

（4）美術鑑賞事業

令和4年度は、幅広い世代に人気のイラストレーターの特別展や、日本を代表する著名な現代アーティストの展覧会など、子どもたちやアート初心者から、コアなアートファンまで幅広い層に楽しんでいただける企画展を実施いたします。

メインの企画展2本は、ともに山口県や中国地方初開催です。地元テレビ局とタイアップし、昨年に引き続きメディア露出を増やすとともに、SNSを中心としたデジタル戦略に力を入れます。

また、昨年好評を得た、毛利博物館との提携のような観光分野との連携にも取り組み、イベントによる交流人口の増加を観光につなげるなど、街づくりも見据えた事業展開を目指します。

① 主催事業

- ア KRY山口放送共同企画展「中村佑介展」
…2022年3月26日（土）～5月8日（日）会場：アスピラート
- イ 出雲市・廿日市市・姫路市・防府市4館共同企画展「はしもとみお展」
…2022年7月1日（金）～8月14日（日）会場：アスピラート
- ウ 美術鑑賞バス（2回） …日程・行先未定
- エ 「幸せます×カメラ女子部写真展／アスピラートでクリスマス2022」
…ワークショップ：2022年6月～11月頃 場所：防府市内
展示：2022年12月頃 会場：アスピラート

② 共催事業

ア y a b 山口朝日放送・朝日新聞社共同企画

ふるさとの匠たち～第14回「腕前探訪」

…2022年9月頃（予定）会場：アスピラート

（5）美術育成事業

各展覧会やイベントに併せた各種ワークショップや講座に加え、市民から要望の多い幼児から楽しめる親子造形ワークショップを、現役の小学校教諭と共同で企画・実施し、アートによる子育て支援に取り組みます。

また、全県を対象とした小中高校生向けのデザインポスタープロジェクト等を行い、今後のデジタル社会に対応できる、デザインやイラストレーションなど将来の防府を担うクリエイターの育成に力を入れます。

① 主催事業

「ゆめあーとひろば」 6回程度実施

…2022年6月～2023年2月（予定）会場：アスピラート他

対象・定員：幼児～小学生

② 共催事業※名義共催

（仮称）瀬戸内デザイングランプリ 2022年受賞作品展

…2022年11月頃（予定）会場：アスピラート

対象：山口県内の小中高校生

（6）発表・支援事業

① 主催事業

ア フェスタアスピラート 2023（音楽部門）

…2023年3月5日（日）（予定）会場：アスピラート

イ フェスタアスピラート 2023（美術部門）

…2023年3月3日（金）～3月5日（日）（予定）会場：アスピラート

② 共催事業

ア 防府アスピラート児童合唱団演奏会

…2022年7月24日（日）会場：アスピラート

イ 防府吹奏楽団定期演奏会

…2022年11月頃 会場：防府市公会堂

ウ 防府弦楽合奏団定期演奏会

…2022年10月9日（日）会場：アスピラート

エ 第30回能章まつり

…2022年10月29日（土）会場：アスピラート

(7) その他の文化事業

- ① 主催事業
伝統芸能 … (内容・開催時期未定) 会場：アスピラート
- ② 会員招待事業
講演会 … (内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂

(8) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和35年の開館から60年近くが経過し、耐震改修を主とした大規模改修工事を終えて、令和3年10月にリニューアルオープンしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベント開催の際には、それぞれの主催者と入念に打ち合わせを行い、消毒や検温の実施など、市民の皆様が安心してイベントに参加していただけるような環境の整備に努めています。

また、改修工事後の利用者からは、「音響性能がよくなった」ことや「トイレをはじめ施設がきれいになり使いやすくなった」等のご意見をいただいております。

今後は、生まれ変わった当館をPRし、大型公演の誘致や貸館の稼働率の向上を図り、市民の皆様方にご満足いただけるよう努めてまいります。

② 防府市地域交流センター (アスピラート)

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行のため、臨時休館の実施や、イベントの中止、貸館のキャンセルが相次ぎ、利用率や来館者数が低迷しました。

しかし、徐々にイベントを開催する兆しが見られており、来年度も館内において基本的な新型コロナウイルス感染対策を徹底し、安心して来館いただけるような環境を整え、利用率の向上に努めます。

施設のご利用については、常に国や県・市の対策を注視し、新しい生活様式を踏まえながら、より分かりやすく柔軟な対応を心がけるとともに、WEBサイトでの情報の公開を進めます。そして、これまで以上にお客様と詳細な事前の段取りの確認や業務の効率化の実施を心がけ、お客様に満足していただけるよう迅速で丁寧な対応を目指します。

施設面では開館から23年が経過し、老朽化による不具合箇所が多数出てきています。お客様の安全と満足を保証するためにも、日常点検を強化し可能な限りの修繕と計画的な更新に努めてまいります。

また、駅前の活性化推進の視点から、現在、1階の旧種田山頭火の部屋と大村能

章の部屋の仕切りを解体し、1つの部屋にすることにより市民ギャラリーの設置や、旧ミニシアターを大村能章の部屋にするための工事が進められています。今後、これらの部屋の活用方法等については、関係機関と協議しながら模索していきます。

さらに、コンベンションに力をいれている防府市や防府観光コンベンション協会など地域社会との連携活動を推進するとともに、これまでと同様に、社会科見学やインターンシップの積極的な受け入れ、バックステージツアーの開催などにより、多くの市民にアスピラートに親しみをもってもらうきっかけづくりに努めます。

(9) 財団会員の運営管理

防府市文化振興財団では、文化事業をはじめ財団の各事業について、市民の皆様にご理解とご支援をいただく財団会員の募集活動を実施しています。

会員特典として「財団通信」（隔月発行）の配布や会員先行販売・割引、会員無料招待事業などを実施しています。

また、平成29年10月から財団メールマガジンを開始し、現在200名の登録がなされています。防府市文化振興財団の各施設でのイベント最新情報をパソコン・スマートフォンなどに毎月1回以上発信しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、市民の皆様の文化活動が制約を受ける状況の中で、会員数の増加が図られていない現状もあります。

今後は、さらに事業活動を通じ有意義で魅力のある取組を展開し、財団会員の増加を図ってまいります。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「科学を、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

令和4年度は、これまでの事業成果を踏まえ、科学好きな子どもたちの育成のために継続しなければならない日常事業と、季節ごとに魅力的な企画事業を実施します。特に日常事業においては、令和3年度の新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として取り組んだ新しい事業を継続して取り組み、年間を通じてより充実した科学の学びの場を提供していきます。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

令和4年度は、令和3年度に引き続き、たのしい工作、サイエンスショー、太陽望遠鏡ガイドツアーなどの対面指導等を伴う科学普及活動は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、安心・安全対策は順守しつつ、柔軟に対応できる実施スタイルを模索・検討していきます。

また、常設展示を利用した「クイズラリー」や、様々な切り口の「スポット展」の開催などの事業も展開し、幅広い年齢層が、科学の楽しさを探求することで奥深さを感じることができるよう科学普及事業を提供します。

ア たのしい工作

土・日・祝日や、学校の春休み・夏休み・冬休み期間に、主に幼児から小学生を対象にした簡単な工作教室を開催します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理や道具の使い方などを学習できる教室です。

令和2年度から、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、対面指導を中止し、自宅でも体験できるように予め加工した工作教材、解説書の制作など、工夫した「工作キット」にして来館者に提供しました。

令和4年度も、新型コロナウイルスの状況によっては、工作キットにして来館者に配布し、昨年度に引き続き、自宅でも工作で科学の学びができるよう提供します。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。基本的には土・日・祝日に実施し、平日は幼稚園・保育園・学校団体等からの実施要望にも対応します。また、年齢層や学年に応じた内容のショーを提供し、幅広い年齢層に科学への興味・関心を喚起するきっかけづくりを行います。

令和4年度は、新型コロナウイルスの状況によって、実施回数の変更や観覧人数制限など、安全・安心へ配慮した実施を検討します。

ウ ソラールの科学教室

電子工作や木工工作、化学実験などの幅広い分野の教室を通して、科学の原理やものづくり技術を掘り下げて学び、体験できる場を提供します。また、植物や昆虫などの、防府の自然を観察する教室を通して、観察技術に加え、身近な自然に目を向け、生物多様性や地球環境問題を考えるきっかけづくりになる場も提供します。

令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの状況によって、実施会場での3密を避けるための定員減や実施回数の変更など、安全・安心へ配慮した実施を検討します。また、需要の高い幼児～小学校の低年齢の親子講座や指導

者向け講座の新規開催、他の教育機関・団体との連携教室の開催も実施します。

エ スポット展示

令和3年度は、本に出てくる虫を紹介する防府図書館との共催展示、鉄道模型を走らせる展示、冬芽をテーマにした展示などを開催し、他では見るができないようなオリジナル展示を効果的に実施しました。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、その時期に話題となった科学テーマや、毎年定番となり得るようなテーマを取り入れながら、企画展との同時開催や、常設展示のみの期間の開催など、状況に応じて「スポット展示」を効果的に開催することで、より多くの科学分野の学びを来館者に提供していきます。また、全国の科学館を無償で巡回するようなスポット企画も積極的な開催を検討していきます。

オ クイズラリー

常設展示を、これまでと違った視点で体験し、既存の展示での学びをより充実したものになるよう、展示の科学内容に関連したクイズラリーを実施します。

昨年度は、特に社会見学の学校団体に充実した館内体験を提供できるよう、回廊展示室を利用したクイズラリーを制作し提供しました。

令和4年度は、昨年度に引き続き、特に学校団体が回廊展示室の展示を学べるようなクイズラリーを制作・提供し、充実した館内体験になるよう努めます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、科学の不思議な世界を体験し、科学を楽しみつつ、抱いた疑問を解決へ導き、科学への興味や関心をより深めることができる事業を展開します。より多くの人々が来館されるよう、魅力的で多様な企画を実施して、科学に親しむ機会を提供します。また、企画に関連した講座なども行います。

ア 特別展「ぐるぐるミュージアム」

【令和4年4月1日（金）～7月10日（日） 88日間】

歯車やベアリングは、あらゆる機械に組み込まれています。しかし、カバー等で覆われた機械の内部や重要な部分に使われており、私たちが目にするのはほとんどありません。そこで、身近でありながらあまり触れることのない「歯車」や「ベアリング」の仕組みを、遊びながら体験してもらうことで、「ものづくり」や「技術」に興味をもっていただくことを目的とした展示を行います。

からくり作家制作の歯車などを利用したからくり作品の実物資料や、「ベアリング」の歴史や性能などをパネル・体験展示で紹介する、「回転」をテーマにした特別展（巡回展示）です。

令和4年度は、夏休み前まで開催し、より多くのお客様にご来館いただけるよう努めます。

イ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2022」

【令和4年7月30日（土）～8月19日（金） 18日間】

当館が毎年開催している夏休み恒例の特別企画です。講師に、小学校から大学までの先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を実施します。子ども達が自由研究のヒントにしたり、科学を体験する機会をもっと増やしたりすることを目的とします。

令和3年度は新型コロナウイルスの状況を鑑み、感染拡大防止対策のため、急遽講座数を減らし、当館職員や当館のボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」が講師として対応し実施しました。令和4年度は、その時の新型コロナウイルスの状況を踏まえた上で、幅広い分野の講座を幼児から小・中学生までを対象に提供できるよう、講座の数やスタイル、講師の選定などを考慮し、提供する講座の充実に努めます。

県内の小中学校の夏休み期間の状況から、令和3年度と同様、18日間の開催とします。

ウ 防府市小中学校科学作品展

【令和4年9月28日（水）～10月2日（日） 5日間】※会期は予定

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

エ 企画展「ちがいがわかる！？目利きの達人（仮称）」

【令和4年10月29日（土）～令和5年1月15日（日） 63日間】

昆虫や植物などの自然物に対して、種類や在来種・外来種などの違いを見極めて特定するには、特徴の違いが分かる「観察眼」と「知識・経験」が必要です。

また、水晶とガラスなどの天然と人工物の違いや、科学捜査、絵画などの美術品の真作・贋作の違いを見極めるには、「鑑定技術」や「モノの仕組み・構造知識」の習得が必要不可欠になります。

モノの違いが分かることは、自然界では生きるための薬や食として利用できたり、人工物ではその正しい価値がわかることで詐欺犯罪などを事前回避できたりと、“賢く生きる力”に繋がります。また、わずかな情報を元に「想像して考える」経験は、様々なモノの見方を養うことにも繋がります。

本展は、当館オリジナル企画展として、幅広い年齢層が、謎解き感覚で楽しみながら目利きや鑑定を体験し、違いの分かる眼を養う大切さを学んでいただくことを目的に開催します。

(2) 情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、科学に関係した資料を収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心を持ち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

(3) 啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

(4) 学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小学校への出前講座や機器の貸出しなどを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。

また、インターンシップ、職場体験学習、学芸員実習の受け入れによる、人材育成支援も行います。

さらに、社会見学の学校団体の滞在時間に応じて、サイエンスショーやクイズラリーなどの団体専用のプログラムを盛り込んだ、館内体験プログラムを学校ごとに作成し提案します。新型コロナウイルス対策の一環として、団体同士や一般のお客様との3密を避けるよう、安心・安全且つ、充実した科学の学びができるよう努めます。

② 外部連携事業

市役所の関連部署や博物館や大学、企業、地域の団体、並びに科学系博物館加盟上部団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、社会に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、主にボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。

また、公益社団法人発明協会主催の「未来の科学の夢絵画展」への参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を引き続き支援します。

(5) 指導員派遣事業（出前講座）

主に市内の家庭教育学級などの公民館活動、学校のPTA学級活動・放課後子ども教室などの、子どもを対象とした活動への要望に対して講師を派遣し、幅広い科学教育普及活動や館の広報活動を推進します。特に、高齢者教室や女性学級、指導者向

け講座などの一般向け講座へは積極的に派遣し、広く一般市民向けに生涯学習の場を提供していきます。

また、増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった当館職員以外の人材を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

(6) 情報提供活動

ホームページやSNSをはじめ、「ソラール年報」で活動の情報や実績を広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、平成28年度から開始した防府市文化振興財団の会員に対する割引を継続します。さらなる利用促進に向けて、身近なテーマを取り上げるなどして、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教育の振興を図るため、学校教育や社会教育における学習支援につながるような事業に取り組んでまいります。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析するとともに、運営委員会などで検討して教材などを整備します。また、地域の映像教材や、授業の導入に利用できる教材を制作することで、あらゆる世代の学習支援に取り組みます。

整備した教材などについては、内容をわかりやすく紹介し、利用促進を図ります。

(2) 視聴覚教材や機材の貸し出し

学校、社会教育施設などに、DVDなどの教材、プロジェクターやDVDプレイヤーなどの機材を貸し出します。教材は、防府市視聴覚ライブラリーのホームページで検索できるよう、引き続きデータの整理、更新を行います。また、機材の保守点検に

努め、利用者の要望に応えられるように努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

科学館の事業内容に適する教材を選定して上映することにより、科学教育普及事業を支援するとともに、科学館の魅力づくりにつなげます。

また、地域教材ビデオや、未就学児が楽しめるビデオの上映などにも努めます。

(4) 市内小学校の巡回ビデオの支援

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された教材（DVD）が市内小学校を巡回する「巡回ビデオ」の実施に伴い、各小学校に教材を配送し、小学校の視聴覚教育を支援します。

(5) 講習会の開催

視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした視聴覚機器の技術講習会を開催します。また、情報モラル学習などを含めた視聴覚に関する学習機会を提供します。

(6) ホームページの充実

自主制作の「地域教材ビデオ」などについて、防府市視聴覚ライブラリーのホームページから自由に閲覧できるよう、引き続き整備・更新します。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

「私たちの目指す図書館像－防府図書館の任務と目標－」を具体化した「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」に沿って、市民のための図書館サービスを推進します。

(1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

- ① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館
ア 資料収集業務

図書館資料の適正な選書・収集を、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実を図ります。図書購入目標冊数10,100冊。内一般7,600冊、児童2,400冊、郷土関係100冊。視聴覚資料の購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点。

また、10月からの資料提供を目標に、電子図書館のシステムを導入します。

電子書籍の購入目標冊数1,000冊。

イ 資料分類・目録整備業務

資料の受入れに際しては、体系的・継続的に管理するための迅速・正確な資料組織化・装備を行います。資料受入れ時に、日本十進分類法新訂10版に基づく適切な書架分類と配列、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）の検索画面等を提供します。

ウ 書架管理・蔵書点検業務

書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理し、10月と3月に全開架資料の蔵書点検を行います。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行います。

エ 資料提供業務

窓口カウンターでは、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確、迅速に行います。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励を図り、より利用し易い環境の整備に努めます。

② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化を図ります。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自ら読書履歴を管理する読書手帳、Web上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用により、図書館利用の促進を図ります。

イ 情報発信（広報）業務

ホームページ上の情報を随時更新して内容の整備を図り、電子媒体による情報発信の充実に努めます。また、月刊の「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」等の広報紙や行事チラシを発行するとともに、市広報「ほうふ」、防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」、防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」、地域情報誌「ほっふ」、及び「防府市メールサービス」に、記事を定期的に掲載します。地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等のメディアも活用します。

ウ 図書館年報作成業務

「令和3年度図書館年報」（一般用版・子ども用版）を作成し、冊子及びホームページで公表します。

エ サービス環境整備・安全対策・危機管理業務

施設・設備・備品の点検を日常的に行い、適正な清掃業務を実施して、安全で快適な利用環境の整備に努めます。図書館は不特定多数が利用し、自由に出入りできる場であることを踏まえ、施設管理会社・警備会社・警察等と連携して、的確な状況把握と防犯管理に努めます。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応します。自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理体制の不断の改善、年2回の定期避難訓練等の実施により、全職員が、緊急事態や危機に際し的確な対応が取れるよう備えます。

オ 利用マナー啓発業務

日常的に利用マナー向上のための啓発活動に努めるとともに、7月1日から8月31日まで「マナーアップキャンペーン」を実施、併せて幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」を行います。

③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車「わっしょい文庫」に常時約3500冊の図書を積載し、新ステーション「大道中学校」を加えた6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回します。業務を適正に運用するため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行います。また、市内各地で開催されるイベント等に合わせ、移動図書館車の臨時出張サービスを行います。

イ 電子図書館運営業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方等の幅広い利用を可能にするため、インターネットを利用する電子図書館のシステムを導入し、その利用促進に努めます。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行います。児童カウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援します。また、参加登録をしている、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や、「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり、利用者をそれらの機関へ案内・紹介したりするレフェラルサービスを行います。レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファイン

ダー（テーマ別資料利用案内）等の充実に努めるとともに、レファレンス研修やフロアワークの強化に努めます。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施します。

（２）地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

- ・ 「第11回防府市子ども読書フェスティバル」（6月5日（日）開催）
- ・ 「第32回防府図書館まつり」（10月15日（土）開催）

上記のイベント等について、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催し、図書館事業への市民参画の推進を図ります。

② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

- ・ 「防府図書館ボランティア連絡会議」（1月開催）

図書館ボランティアの現状と課題について、図書館とボランティアとが認識を共有し活動環境を整備していくため、情報や意見を交換する会議を開催します。

- ・ 「図書館ボランティア養成講座」（2月頃4回シリーズで開催）

図書館ボランティアの裾野の拡大と活動内容の向上を図るため、必要な基礎知識の習得と技術の向上に資する講義・演習を行う講座を開催します。

（３）生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・ 「トークイベント」（6月5日（日）開催）

「第11回防府市子ども読書フェスティバル」において、昨年7月に亡くなった防府市在住の児童文学作家・那須正幹氏を偲び、故人と親交の深かった森川信夫・山本安彦・横山眞佐子・中山聖子の4氏によるトークイベントを開催します。

- ・ 「防府図書館ビブリオバトル」（年2回開催）

読書推進活動の一環として、小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュ

ニケーションゲーム、ビブリオバトル（知的書評合戦）を開催します。

・ 「月いちキネマ」（毎月1回開催）

主に高齢者に向けたサービスとして映画鑑賞会を開催します。また、読書活動へつなげるため、職員による関連図書を紹介する時間を設けます。

・ 「大人のくらし塾」（年2回開催）

主に高齢者に向けたサービスとして、生活する上で役立つようなテーマで講座を開講します。また、読書活動への足掛かりとするため、職員による関連図書を紹介する時間を設けます。

・ 「防府図書館利用者懇談会」（11月開催）

利用者の意見や提言を直接聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集し利用者懇談会を開催します。

イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、それぞれテーマを設定し、定期的に行います。新聞・雑誌コーナー壁面では、市民や行政機関等が主催の絵画・写真その他の作品展覧会を開催します。

② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

研修室他、集会スペースの利用許可業務を適正に行い、生涯学習グループに学習の機会・場・設備・資料等を提供して、図書館での活動の支援に努めます。研修室については、利用予定の無い日に学習室として開放します。

（４）地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 地域（郷土）資料収集業務

地域（郷土）資料、特に防府市関連の資料について、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めます。年間地域（郷土）資料収集目標冊数450冊。

② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行います。ブラウジングコーナー壁面では、上山満之進の誕生日（9月）に合わせて特別展示を行います。

イ 「防府史料」刊行業務

地域史料等を翻刻または復刻し、ホームページ上にも掲載する「防府史料」刊行業務は、第72集を発行します。

- ③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づいて、100冊程度の資料を相互に寄贈・受贈し、受贈資料を市民の利用に供します。

(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

- ① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の出借や学校用貸出文庫の利用促進を図るとともに、学校司書研修の機会や場の提供に努めます。

イ 「地域文庫」・団体貸出業務

地域における読書活動支援業務の一環として、市内15ヶ所の公民館に設置している「地域文庫（配本所）」の利用促進に努めます。また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫の利用促進に努めます。

- ② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等を積極的に展開するとともに、文書館や博物館・美術館等との連携強化に努めます。

イ 本財団内連携業務

財団内連携推進会議を随時開催し、委員6人による各館の事業等に関する情報交換や、連携業務の展開について協議を行います。アスプラートや市公会堂・ソラールで開催される企画展やイベントに合わせ、関連図書の展示やブックトーク、おはなし会等を行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の作成・配付をします。また、「紅葉どんぐり便」の受付を本館や移動図書館車でも行い、これに関連した連携業務を行います。

(6) 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

- ① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

ア 子ども読書活動推進業務

- ・ 「子ども図書館員」（7月～8月2回開催）

子どもたちの図書館業務への理解を深め、読書活動を推進するため、夏休みに小学校4年生～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催します。

- ・ 「第10回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」(8月～9月実施)
子どもたちの、資料を使って調査研究する能力を育むため、市内の小中学生を対象とした「第10回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催し、学習能力の向上と図書館利用の促進・啓発に取り組みます。また、コンクール参加希望者を対象に、テーマの決め方や調べ方について助言する「チャレンジ!調べる学習」(7月～8月)を開催します。
 - ・ 「読書感想文教室」(7月～8月開催)
子どもたちの読書活動を推進し、文章を書く力を育むため、夏休みに小学校中学年・高学年を対象とした「読書感想文教室」を開催します。
 - ・ 「おはなし会」(家庭の日・クリスマス)
家庭における大人と子どもの読書活動を推進するため、毎月の家庭の日やクリスマスに「おはなし会」を開催します。
 - ・ 職場体験・図書館見学等の奨励
職場体験等のインターンシップ、図書館見学等を奨励し、図書館への理解促進と利用拡大に努めます。
 - ・ 出張イベント
市内の公共施設等に出張し、おはなし会等のイベントを開催します。
- ② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館ア ボランティアとの連携・協働業務
ボランティア主催の諸行事・研修等において、図書館職員のブックトーク等を実施し、連携・協働を推進します。

(7) 障害者や高齢者に優しい図書館

- ① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館
- ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務
障害者・高齢者への資料・情報提供サービス向上のため、大活字本・音声資料・電子書籍等の整備・充実に努めます。また、「障害者サービスのご案内」リーフレットの点字版・音訳版、視覚障害者用音声付インターネットサービスの周知に努めます。
- ② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館
- ア 対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務
ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスや「防府図書館ひなぎくネット」(国立国会図書館が制作・収集した音声デジター等の視覚障害者等用データや、伊藤忠記念

財団から寄贈を受けたデイジー図書を提供するサービス)について、周知と利用促進に努めます。

③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進に努めます。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、チケットの受託販売や青少年科学館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

(1) チケットの受託販売

公会堂、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施する事業を知っていただく機会にします。

(2) ミュージアムショップ

防府市青少年科学館の魅力向上や利用者の利便性を図るため、ミュージアムショップを運営します。

品質が良く信頼性の高い商品を提供することで、お客様の満足度を高めるとともに、財源の確保につなげます。また、企画展の内容に沿った商品や書籍など、科学館の教育目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなショップの運営に努めます。